妙高山での星空

2016-8-15
東京在住　福原浩一

このところ関西では、連日35度を超える暑さが続き、大変な酷暑となっている模様ですが、関東は北東からの涼しい空気に覆われて、毎日33度前後の比較的穏やかな暑さとなっています。そんな毎年夏のわたしの恒例登山に、8月5日～7日の3日間、新潟県妙高山に行ってきました。その様子を紹介し、当日の星野写真をご紹介します。

＜行程＞

■8／4（木）　大阪・京都駅からは南海バスで新宿からは夜行バスで　JR長野駅に集合（9名）

■8／5（金）　JR長野駅→妙高高原駅→笹ヶ峰（バス）→富士見平→高谷池ヒュッテ⇔火打山（ピストン）

■8／6（土）　高谷池ヒュッテ→黒沢池ヒュッテ→妙高山→天狗堂→燕温泉　（泊）

■8／7（日）　燕温泉　→長野市周辺観光　→　京都・大阪・東京　帰途

＜紹介＞

笹ヶ峰登山口（*1）から富士見平までは、2時間ほど続く上り坂、当日は晴天のため気温が高く、大汗をかいてたどり着く。そこから宿泊地の高谷池ヒュッテまでは、森林と湿原の道で距離があった。ヒュッテで荷物を降ろして、そこから火打山までは、軽ザックに最小限の備品を入れて高速登山、山頂は雲の上で、強い日射を受けて見下ろすと雲海があり、切れ目から野尻湖が望めた。ヒュッテに戻った時は、空にまだ雲が多くあり、晴れることを期待し、一時休息。午後8時になると、外は雲一つない星空、ここぞとばかりテント場の横で写真撮影を開始した。（写真1、写真2）南のさそり座付近に赤く大きな星を見つけた（火星です）ので、その星と銀河を入れる構図で撮影した。当日、こちらから見た北アルプスでは、稲光が何度も発生し、雷雨となっていた模様。撮影の後、満点の星空をゆっくり眺めた。

翌日は、高谷池ヒュッテから黒沢池ヒュッテを経由して、妙高山にアタック。登山道は、かなり急登の直線道で、休憩をしっかり取りながら昼ごろ頂上に着く。そこからは、燕温泉に向けて標高差1，000mの下山道をひたすら降りて、午後5時ころに旅館到着。暑くて距離のある登山だった。

＜風景・写真＞

*1：　笹ヶ峰登山口

*2：　火打山　山頂

*3：　妙高山　山頂

写真1： 高谷池ヒュッテ　天の川銀河

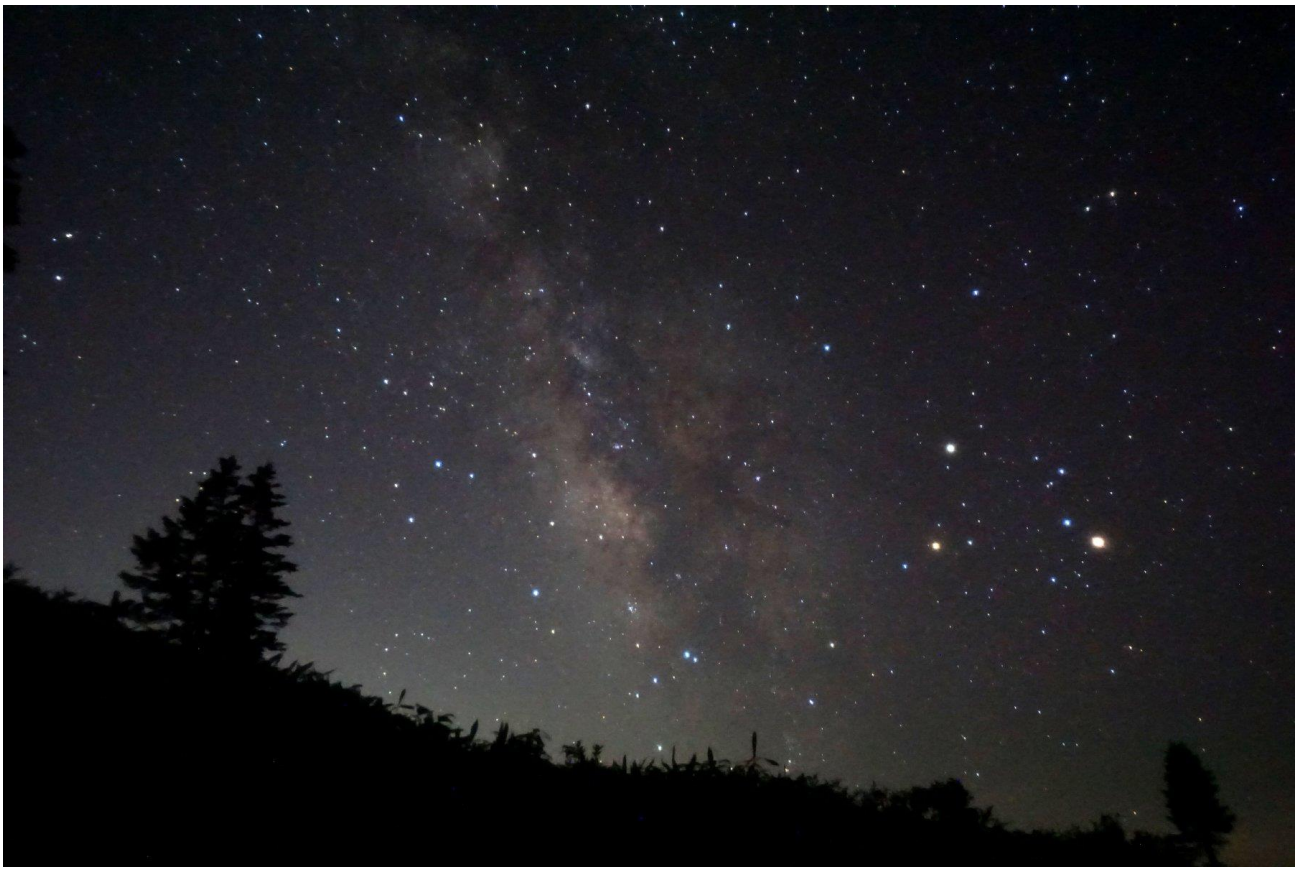

写真2： 高谷池ヒュッテ　さそり座に接近する火星